

小学生 (株)鈴木楽器製作所3F クロマチックハーモニカ教室

毎月第①,第③月曜日 16:00~17:00
グループレッスン(月2回 60分/回) ※会社カレンダー、講師のスケジュールにより変更になる場合があります。

新規開講にて受講生募集中です！
説明会にもお気軽にご参加ください！

“鈴木楽器製作所(中区領家)”にて2015年5月より小学生クロマチックハーモニカ教室を開講予定！
4月20日(月)16:00~鈴木楽器製作所3Fにて説明会&ミニコンサート(参加無料)を開催します。
お気軽にご参加ください！



概要

対象：小学校3年生～6年生

内容：クロマチックハーモニカの演奏を通して音楽に触れ、音楽を楽しむ経験により「こども達の感性」を育て参ります。

使用楽器：クロマチックハーモニカのご用意をお願いいたします。
※新たにご購入される場合は15,000円程度(ご相談ください)

場所：(株)鈴木楽器製作所 3F

月謝：3,000円+税(教材費込)

※入会金1,000円(税込)

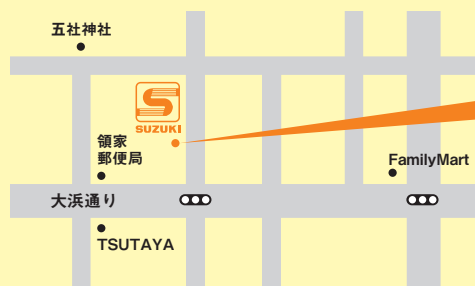


山口牧先生

静岡県島田市出身
1972年生まれ

学生時代に独学でハーモニカ、ギターを始める。(株)鈴木楽器製作所にて、10年間、ハーモニカの調律、組立、修理などを経験した後、3年間、ハーモニカの営業、曲集や教本の編集、演奏や修理の講師などを担当。2007年に鈴木楽器製作所を退社。現在は、地元静岡県を中心に、各地でハーモニカ演奏、講師活動などを行っている。ジャンルにとらわれず、10ホールズ、クロマチック、複音など、各種ハーモニカの特徴を活かした演奏が特徴。

鈴木楽器周辺地図



浜松市中区領家 2-25-12
鈴木楽器製作所 3F にて

スズキ楽器は こんな会社です

鈴木楽器製作所は、1953年に創業者「鈴木萬司」が、たくさんの人に愛される楽器、ハーモニカに着目し製作を開始したのが始まりです。みなさんもお存じの学校でつかう鍵盤ハーモニカ「メロディオン」を開発したのもスズキ楽器です。現在は、 Hammondオルガンなどの電子楽器や鉄琴・木琴などの打楽器、和太鼓や大正琴などの和楽器、学校で使うリコーダーなどの教育楽器と、幅広く楽器を製造・開発している会社です。



どんな種類のハーモニカがあるかな？



みなさんはハーモニカといわれるとどんなカタチを思い浮かべますか？ 1820年代にヨーロッパで誕生したと言われていたハーモニカ。それ以来たくさんの種類のハーモニカが誕生しています。学校で演奏されている「シングルハーモニカ」や、日本やアジアで根強い人気のある「複音ハーモニカ」ジャズやポップスなどでも愛用される「10ホールズ」や「クロマチック」など、その種類は様々。その他にもハーモニカのみでアンサンブル演奏ができるバスハーモニカやコードハーモニカなどがあります。なかでもコードハーモニカはとても大きく、長さが約60cmもあり、もっとも小さいミニハーモニカの約15倍の長さがあります。

● クロマチックハーモニカ



主にジャズやクラシック、ポップスなどで使われています。トゥーツ・シールマンス、スティービー・ワンダーが吹いているハーモニカですね。ボタンがついていて、シャープやフラットを演奏することができます。今回のハーモニカ教室でつかうのはこのハーモニカです。

10ホールズや複音は、基本的には一つの音階を吹くようにできているので、曲のキーが変わるとハーモニカを持ち替える必要がありますが、クロマチックはすべての音が出ますので、音階さえ覚えてしまえば1本でどんなキーでも吹くことができます。また半音を多用した、ジャズやクラシックの早いフレーズなどは、このハーモニカでないと難しいかも。音の作り方、ピブラートのかけ方、表現の仕方などによって、プレイヤー一人一人の個性がとても良く出るハーモニカだと思います。

○ 10ホールハーモニカ



ブルースやロック、フォークソングなどで使われる、穴が10個の小さなハーモニカです。ギターを弾きながら金具に取り付けて、このハーモニカを演奏しているミュージシャンをきくとご覧になったことがあると思います。

小さいながらも、3オクターブの音域を持っています。音の配列にとっても特徴があって、1オクターブ目は、ガパッとくわえて吹くと1度、吸うと5度の和音の出る配列になっています。2オクターブ目からは、ドレミファソラシドが並んでいます。なぜこのような配列になったかは、いくつか説があるようで、楽団で正しい和音を聞くための調子笛だったとか、オルガンを作るための調子笛だったという話を聞いた事があります。ブルースミュージックの中でソロ楽器としてとても良く使われ、『ブルースハーモニカ』とも呼ばれています。その独特な配列、バンド奏法から生まれるブルージーなフレージングは、他のハーモニカには真似できません。

○ 複音ハーモニカ（トレモロハーモニカ）



日本では一番有名な、上下に二段穴の並んだハーモニカ。上下ふたつの穴を同時に吹いて（吸って）音を鳴らします。吹音と吸音は左右交互に並んでいます。

上下の穴には微妙に調律をずらした同じ音が並んでいて、このズレから「うなり（波）」が発生し、エフェクターの「コーラス」のようなとてもきれいな音が出ます。童謡や唱歌、日本的なメロディを持つような曲にもピッタリです。

サークルなどでの合奏に使用される事も多いですが、ベース奏法、マンドリン奏法、バイオリン奏法、分散和音奏法など、さまざまな奏法を使った、独奏で演奏をするスタイルも、とても人気があります。



株式会社 鈴木楽器製作所
〒430-0852 浜松市中区領家 2-25-12 TEL.053-461-2325

株式会社 ハモンド・スズキ 〒430-0852 浜松市中区領家 2-25-12 TEL.053-462-7810

ハモンド梅田センター 〒530-0012 大阪市北区芝田2-6-30 梅田清和ビル4F TEL.06-6359-2636
スズキ楽器製品は、Hammond梅田センターショールームでもお試しください。
展示・試奏・教室：Hammond・レスリー・鈴木楽器各製品（詳細はお問合せください）

札幌 011-551-8911 / 仙台 022-244-3121 / 東京 03-5204-3130 / 浜松 053-463-6602 / 名古屋 052-703-7715
大阪 06-6190-7911 / 高松 087-837-6070 / 広島 082-509-2225 / 福岡 092-573-7251 / 熊本 096-213-7733